

「私たちのちかい」についての親教

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

わたし 私たちのちかい

ひとつ、自分の殻からに閉じこもることなく
穏やかな顔かおと優しい言葉ことばを大切にします
微笑み語りかける仏ほとけさまのように

ひとつ、むさぼり、いかり、おろかさに流ながされず
しなやかな心こころと振る舞いまいを心がけます
心安らかな仏ほとけさまのように

ひとつ、自分だけを大事だいじにすることなく
人と喜びよろこみや悲しみかなを分かち合あいます
慈悲じに満ちみちた仏ほとけさまのように

ひとつ、生かされていることに気づき
日々ひびに精一杯せいいつぱいつとめます
人びとの救すくいに尽くす仏ほとけさまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会きかいで唱和ねわしていただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

2018（平成30）年11月23日

浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳